

**平成 29 年度  
喜多方市基本計画審議会**

**意見書(答申)**

**平成 29 年 12 月  
喜多方市基本計画審議会**

## 喜多方市基本計画審議会意見書

喜多方市基本計画審議会（以下「審議会」という。）は、平成２９年１１月２０日、市長からの諮問を受け、喜多方市総合計画の基本計画の進捗状況について、平成２９年１１月２０日及び１２月１９日に調査審議を行いました。

この２回にわたる審議会での議論の結果を、市長に意見書として答申します。なお、この度の評価は、平成２９年度が新総合計画の初年度であることから、年度途中における評価であることを申し添えます。

施策の進捗状況は、おおむね順調に進展している、あるいはおおむね順調なスタートを切ることができたものと認められますが、改善を要する点も見受けられますので、今後ともご努力をお願いします。特に、成果指標において、現時点で進捗が見られていないものや、市民満足度・重要度調査において、満足度が低位にある施策の分野については、それらの状況を認識され、改善に向けた取組を図られるよう希望します。

また、本市においては、産業の振興と東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害の払拭に重点的に取り組んでいること、さらには、新計画から新たに設けた移住・定住の施策の分野で、実績を上げていることを評価するとともに、今後も引き続き、人口減少社会・少子高齢化への対応を最重要課題として位置づけながら、本市総合計画の着実な推進に努めてください。

なお、市民満足度・重要度調査は、この意見書の基礎となっているため、幅広い年齢層からの回答が得られるよう、アンケートの取り方を検討してください。

平成２９年１２月２６日

喜多方市長 山 口 信 也 様

喜多方市基本計画審議会  
会長 唐 橋 幸市郎

## 大綱1 地域の特性を生かした力強い産業づくり

| 施策の分野 | 施策項目                      |                      |
|-------|---------------------------|----------------------|
| 農林業   | (1) 担い手の育成・確保             | (6) 特色ある農業の推進        |
|       | (2) 農用地の集積と有効利用           | (7) 農村環境・農業基盤の整備保全   |
|       | (3) 戦略的作物の産地化             | (8) 林業の担い手育成と生産基盤の整備 |
|       | (4) 農業経営の安定化              | (9) 森林の保全及び活用        |
|       | (5) 販路の拡大                 | (10) 有害鳥獣による被害防止     |
| 商業    | (1) 魅力ある商店づくりと賑わいの創出      | (3) 新たな活力の創出         |
|       | (2) 中小企業の育成               |                      |
| 工業    | (1) 経営基盤の強化               | (3) 新産業・新分野への進出支援    |
|       | (2) 雇用創出と人材の確保・育成         | (4) 企業誘致の推進と操業支援     |
| 雇用・労働 | (1) 就業機会の確保と雇用創出の推進       | (3) 職業能力の向上と労働者福祉の向上 |
|       | (2) 若年層の市内定着の促進と市内企業の人材確保 |                      |
| 観光    | (1) 地域特性を生かした観光の魅力づくり     | (4) グリーン・ツーリズムの推進    |
|       | (2) 誘客宣伝活動の推進と受入体制の充実     | (5) 物産の振興            |
|       | (3) 広域観光と外国人観光客の誘客推進      |                      |

### 1 成果指標

| 指標名                      | 指標の説明                                                | 初期値<br>27年度 | 28年度<br>実績参考値 | 29年度<br>上半期実績 | 33年度<br>中間目標値 | 38年度<br>最終目標値 |
|--------------------------|------------------------------------------------------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| ①認定農業者数<br>[累計]          | 農業の担い手の確保を示す人数（各年度末の数値）                              | 530人        | 533人          | 535人          | 610人          | 635人          |
| ②認定新規就農者数<br>[累計]        | 新たな農業の担い手の確保を示す人数（各年度末の数値）                           | 10人         | 17人           | 18人           | 40人           | 40人           |
| ③集落営農組織数<br>[累計]         | 農業の担い手として確保する組織数（各年度末の数値）                            | 52組織        | 56組織          | 59組織          | 65組織          | 80組織          |
| ④農用地の集積率<br>[累計]         | 農業の担い手（認定農業者、認定就農者、育成すべき農業者）への集積目標                   | 56.2%       | 57.3%         | 57.3%         | 65%           | 70%           |
| ⑤園芸作物施設化率<br>[累計]        | グリーンアスパラガスの生産における施設栽培面積の割合（各年度末の数値）                  | 20.7%       | 23.6%         | 24.4%         | 30%           | 40%           |
| ⑥エコファーマー数<br>[累計]        | 福島県から「持続性の高い農業生産方式導入計画」の認定を受けた者（エコファーマー）の人数（各年度末の数値） | 1,770人      | 1,304人        | 1,390人        | 2,000人        | 2,200人        |
| ⑦多面的機能支払交付金活動組織数<br>[単年] | 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域共同活動に取り組む年間の組織数          | 91組織        | 99組織          | 100組織         | 113組織         | 128組織         |
| ⑧森林経営計画策定面積<br>[累計]      | 間伐・植林等の森林施策について定める「森林経営計画」を策定し、国や県の補助事業の対象となる民有林の面積  | 2,078ha     | 2,116ha       | 2,153ha       | 3,100ha       | 3,500ha       |
| ⑨集落環境診断の実施地区数<br>[累計]    | 集落環境診断に取り組んだ地区数                                      | 30地区        | 43地区          | 49地区          | 36地区          | 51地区          |

|                        |                                          |                           |             |                   |             |             |
|------------------------|------------------------------------------|---------------------------|-------------|-------------------|-------------|-------------|
| ⑩農作物野生獣被害対策事業取組地区数[累計] | 農作物野生獣被害対策事業を活用し、電気牧柵を導入した地区数            | 7 地区                      | 10 地区       | 11 地区             | 21 地区       | 31 地区       |
| ⑪創業者数[累計]              | 喜多方市創業支援事業計画に準じて起業、創業した数                 | 25 人                      | 43 人        | 43 人              | 63 人        | 103 人       |
| ⑫空き店舗活用数[累計]           | 福島県活力ある商店街支援事業（空き店舗対策事業）を新たに活用した数        | 1 件                       | 1 件         | 1 件               | 8 件         | 13 件        |
| ⑬工場等新設・増設件数[累計]        | 工場立地法、福島県工業開発条例に基づく工場等新設・増設届出件数          | 2 件                       | 4 件         | 5 件               | 10 件        | 20 件        |
| ⑭製造品出荷額等[単年]           | 工業統計調査（従業員 4 人以上の事業所）による年間の製造品出荷額等の額（暦年） | 713 億円<br>(H26)           | 現時点で<br>未公表 | 現時点で<br>未公表       | 750 億円      | 780 億円      |
| ⑮有効求人倍率[単年]            | ハローワーク喜多方に申し込まれている求職者数に対する求人数の割合（年度間）    | 1.02 倍<br>(H28.4 月<br>時点) | 1.11 倍      | 1.19 倍            | 1.00 倍以上    | 1.00 倍以上    |
| ⑯地元就職率[単年]             | 管内新規高卒者で管内就職希望者数のうち、管内就職者数の割合            | 100%                      | 100%        | 未定（内定の出始めで流動的なため） | 100%        | 100%        |
| ⑰観光客入込数[単年]            | 本市を訪れた年間の観光客数（暦年）                        | 1,825,786 人               | 1,850,716 人 | 1,386,612 人       | 2,055,600 人 | 2,383,000 人 |
| ⑱宿泊者数[単年]              | 市内の旅館、ホテル等の年間の宿泊者数（暦年）                   | 67,301 人                  | 65,384 人    | 48,581 人          | 70,800 人    | 72,800 人    |
| ⑲グリーン・ツーリズム交流人口[単年]    | グリーン・ツーリズムで本市を訪れた年間の人数                   | 5,411 人                   | 7,532 人     | 5,867 人           | 10,900 人    | 13,900 人    |
| ⑳外国人観光客数[単年]           | 本市を訪れた年間の外国人観光客数（暦年）                     | 458 人                     | 753 人       | 304 人             | 2,400 人     | 3,900 人     |

### 【成果指標からみた実績】

農林業の分野では、初期値との比較において、29 年度の上半期実績値は、⑥エコファーマー数を除き上昇しています。⑨集落環境診断の実施地区数は、33 年度の中間目標値を既に上回っています。

商業の分野では、初期値との比較において、⑫空き店舗活用数は変わらないものの、⑪創業者数は増加しています。

工業の分野では、⑬工場等新設・増設件数が増加しています。

雇用・労働の分野では、⑮有効求人倍率は、引き続き 1 倍を超えて推移しています。

観光の分野では、初期値との比較において、⑲グリーン・ツーリズム交流人口が増加しています。

## 2 市民満足度・重要度調査結果

| 項 目                                 | 29 年度 満足度  | 29 年度 重要度  |
|-------------------------------------|------------|------------|
|                                     | 評価点数/100 点 | 評価点数/100 点 |
| (1) 農林業の振興について<br>(1 の①～⑩)          | 46.5       | 82.9       |
| (2) 商業の振興について<br>(1 の⑪⑫)            | 37.7       | 79.6       |
| (3) 工業の振興について<br>(1 の⑬⑭)            | 35.5       | 83.5       |
| (4) 市内における就業の機会や就業支援について<br>(1 の⑮⑯) | 33.3       | 87.4       |
| (5) 観光の振興について<br>(1 の⑰～⑳)           | 61.1       | 81.8       |
| 平 均                                 | 42.8       | 83.1       |

※29 年度に実施した市民満足度・重要度アンケート調査による。

### 【市民満足度・重要度調査結果についての解説】

以下の文章には、次の内容を記載しています。(※項目は、大綱 1 から大綱 4 まで合わせて 27 項目あります。)

- ・満足度・重要度の順位  
今年度の調査結果に基づいた各項目の順位になります。各項目の相対的な位置づけであり、市民の満足の高低、関心の高低がわかります。
- ・満足度で「わからない」を選んだ割合  
満足度で「わからない」を選んだ割合が 35%を超えた項目について記載しています。市民に内容があまり知られていないものと推測されます。
- ・満足の理由、不満の理由、重要とする理由、重要でないとする理由  
今年度の調査で満足・重要などを選択した理由や市民の意見などの主なものを記載しています。

### 【市民満足度・重要度調査結果】

#### (1) 農林業の振興について

満足度の順位は 27 項目中 20 位となり、重要度の順位は 27 項目中 13 位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が 36.1%と高かった。

不満の理由として、

「担い手不足による農林業離れ、休耕地の対策、荒れ地の保全、管理など、課題は沢山あると思います。農林業の振興について知る機会がない。」といった意見があった。

重要とする理由として、

「うちは農家ですが農業では生活は難しく、しかし農地がある以上は荒すことなく維持しなくてはと思いますので、担い手及び従事者が生活できるような収入体系にしてほしいと強く思います。」といった意見があった。

#### (2) 商業の振興について

満足度の順位は 25 位となり、重要度の順位は 15 位となった。

不満の理由として、

「商店街も後継者不足で年々さびしくなっている。」「商店街のにぎわいがない。」「買い物をする店も少なく、若い人達は米沢や郡山へ行くようです。もう少し観光客だけではなく地元住民が活用できる商店街を作ってほしい。」といった意見があった。

#### (3) 工業の振興について

満足度の順位は 26 位となり、重要度の順位は 11 位となった。

不満の理由として、

「立地的なものもあるのか企業誘致は進歩していないと思う。」「企業誘致活動の結果がよく見えない。」「会津若松市に比べても喜多方市の賃金は低い。」といった意見があった。

重要とする理由として、

「工業の振興は、生活を支えるための第一歩であり、人口減少を抑えるためにも是非力を注いでほしいです。」「地元企業の経営が良くなるように市政運営してほしい。企業の利益が雇用にもつながる。」といった意見があった。

#### (4) 市内における就業の機会や就業支援について

満足度の順位は最下位の 27 位となり、重要度の順位は 7 位となった。

不満の理由として、

「とにかく就業先が少ない。」「若い人達の働く場が少ないと感じる。」「合同面接会（アピオ）にも何回か参加していますが喜多方市内の求人は毎回わずかで改善をお願いします。」といった意見があった。

重要とする理由として、

「若い人達が働ける企業などを誘致して、若い人が喜多方に就職できるような環境にしたい。」「介護の仕事の給料がすごく低いので、高くなればいいなと思います。」といった意見があったほか、「まだ若い老人が働ける方法も考えていってはどうか。」との提言もあった。

#### (5) 観光の振興について

満足度の順位は 3 位となり、重要度の順位は 14 位となった。

満足の理由として、

「観光の振興は年々、成果が出ているように思う。」「花々をうまく利用し、なされていると思う。」「イベントが多いことはいいことだと思います。」「継続は力なり」で喜多方市の良い所をアピールしてほしいと思います。」との意見があった一方、「イベントが少々多いのではないでしょうか。自己満足に終らぬように組み立ててほしい。」「観光客の滞在時間は、周辺の観光名所より短いので、滞在時間を増やす努力と、リピーター増を考えなければならないと思う。」「ラーメンを食べるだけでなく、気軽に歩いて、買い物出来る店やインスタ映えするような楽しい場所があると良い。」といった提言もあった。

### 3 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・ 農家の担い手不足や高齢化に伴い、集落営農の組織化は、今後ますます推進する必要があります。組織化に当たっては、市が地区の実態をつかんだ中で、きめ細かなバックアップ、フォローをしてください。また、農業委員会制度の改正により新設される農地利用最適化推進委員や農業委員との連携を図ってください。
- ・ 人・農地プラン作成に関しても、集落営農の組織化同様、市のサポートの強化をお願いします。

## 大綱2 地域を支え未来を拓く人づくり

| 施策の分野  | 施策項目                         |                               |
|--------|------------------------------|-------------------------------|
| 学校教育   | (1) 自己啓発力の育成                 | (5) 教員の資質・能力の向上               |
|        | (2) 学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成     | (6) 安全で楽しく学ぶことができる学校環境の整備     |
|        | (3) 勤労観、職業観及び職能の基本的資質・能力の育成  | (7) 均等な教育機会の確保と意欲をもって学べるための支援 |
|        | (4) 共助、協働の態度及びコミュニケーション能力の育成 |                               |
| 生涯学習   | (1) 生涯学習の推進                  | (3) 青少年の健全育成                  |
|        | (2) 生涯スポーツの推進                |                               |
| 歴史・文化  | (1) 文化芸術の振興・文化芸術活動への支援       | (3) 歴史・文化の活用                  |
|        | (2) 歴史・文化等の発掘、保護・保存、継承       | (4) 文化施設の整備                   |
| 男女共同参画 | (1) 男女共同参画社会の推進              |                               |

### 1 成果指標

| 指標名                                                                    | 指標の説明                                                                   |     | 初期値<br>28年度                                | 28年度<br>実績参考値                              | 29年度<br>上半期実績                        | 33年度<br>中間目標値      | 38年度<br>最終目標値      |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------|--------------------|
| ①「自分には、よいところがある」と回答した割合[単年]                                            | 全国学力・学習状況調査における質問項目（「あてはまる」と回答した割合）                                     | 小学校 | 31%                                        | 31%                                        | 39.1%                                | 50%                | 80%                |
|                                                                        |                                                                         | 中学校 | 24%                                        | 24%                                        | 23.8%                                | 50%                | 80%                |
| ②全国学力・学習状況調査の国語と算数・数学の「主に知識に関する問題（A）」と「主に活用に関する問題（B）」の結果の全国との比較（知）[単年] | 全国平均との比較                                                                | 小学校 | 国A：並<br>国B：下回る<br>算A：やや下回る<br>算B：やや下回る     | 国A：並<br>国B：下回る<br>算A：やや下回る<br>算B：やや下回る     | 国A：やや上回る<br>国B：やや下回る<br>算A：並<br>算B：並 | 各科目ともやや上回る         | 各科目とも上回る           |
|                                                                        |                                                                         | 中学校 | 国A：やや下回る<br>国B：やや下回る<br>数A：やや下回る<br>数B：下回る | 国A：やや下回る<br>国B：やや下回る<br>数A：やや下回る<br>数B：下回る | 国A：並<br>国B：やや下回る<br>数A：下回る<br>数B：下回る | 各科目ともやや上回る         | 各科目とも上回る           |
| ③「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した割合（徳）[単年]                                      | 全国学力・学習状況調査における質問項目（「あてはまる」と回答した割合）                                     | 小学校 | 66%                                        | 66%                                        | 70.4%                                | 80%                | 90%                |
|                                                                        |                                                                         | 中学校 | 70%                                        | 70%                                        | 64.8%                                | 80%                | 90%                |
| ④体力・運動能力調査における達成率（体）[単年]                                               | 調査の8種目中、何種目で全国平均値並となったかを表す達成率                                           | 小学校 | 男：46%<br>女：44%                             | 男：46%<br>女：44%                             | 現時点で未公表                              | 男：63%<br>女：63%     | 男：100%<br>女：100%   |
|                                                                        |                                                                         | 中学校 | 男：23%<br>女：20%                             | 男：23%<br>女：20%                             | 現時点で未公表                              | 男：50%<br>女：50%     | 男：100%<br>女：100%   |
| ⑤「将来の夢や目標を持っている」と回答した割合[単年]                                            | 全国学力・学習状況調査における質問項目（「あてはまる」と回答した割合）                                     | 小学校 | 67%                                        | 67%                                        | 70.2%                                | 80%                | 90%                |
|                                                                        |                                                                         | 中学校 | 48%                                        | 48%                                        | 43.7%                                | 70%                | 80%                |
| ⑥学級生活満足群と不満足群の割合[単年]                                                   | Q－Uで、学級集団に対し「居心地がよい、嫌な思いをしていない」と捉えている子どもの割合（満足群）とその反対と捉えている子どもの割合（不満足群） | 小学校 | 満足群:64%<br>不満足群:13%                        | 満足群:64%<br>不満足群:13%                        | 現時点で未公表                              | 満足群:80%<br>不満足群:0% | 満足群:90%<br>不満足群:0% |
|                                                                        |                                                                         | 中学校 | 満足群:59%<br>不満足群:19%                        | 満足群:59%<br>不満足群:19%                        | 現時点で未公表                              | 満足群:75%<br>不満足群:0% | 満足群:85%<br>不満足群:0% |

| 指標名                   | 指標の説明                             | 初期値<br>27 年度   | 28 年度<br>実績参考値 | 29 年度<br>上半期実績 | 33 年度<br>中間目標値 | 38 年度<br>最終目標値 |
|-----------------------|-----------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| ⑦生涯学習講座の受講者数[単年]      | 生涯学習講座を受講した年間の延べ人数                | 53,837 人       | 53,993 人       | 27,004 人       | 55,000 人       | 56,000 人       |
| ⑧講師派遣事業支援実施数[単年]      | 勉強会等への講師派遣の年間の回数                  | 55 回           | 44 回           | 31 回           | 80 回           | 100 回          |
| ⑨市立図書館の図書貸出し冊数[単年]    | 市立図書館の年間の図書貸出し冊数                  | 133,273 冊      | 128,095 冊      | 62,537 冊       | 135,000 冊      | 138,000 冊      |
| ⑩生涯スポーツ活動者数[単年]       | スポーツイベント・教室等への年間参加者数              | 18,994 人       | 22,907 人       | 4,079 人        | 20,000 人       | 21,000 人       |
| ⑪スポーツ施設利用者数[単年]       | スポーツ施設年間利用者数                      | 318,167 人      | 326,302 人      | 136,525 人      | 321,000 人      | 324,000 人      |
| ⑫文化財活用事業の参加者数[単年]     | 文化財を活用した各種事業への年間参加者数              | 2,300 人        | 2,342 人        | 918 人          | 2,500 人        | 2,800 人        |
| ⑬喜多方市美術館入館者数[単年]      | 喜多方市美術館の年間入館者数                    | 13,629 人       | 15,359 人       | 6,913 人        | 15,000 人       | 16,000 人       |
| ⑭審議会等における女性委員の割合[単年]  | 本市の審議会等の委員数に占める女性委員の割合(各年 4/1 時点) | 30.2%<br>(H28) | 30.2%          | 29.9%          | 40.0%          | 40.0%          |
| ⑮男性の育児休業取得率[単年]       | 喜多方市役所の男性職員の育児休業取得割合              | 0%             | 0%             | 0%             | 5%以上           | 5%以上           |
| ⑯男性の育児参加のための休暇取得率[単年] | 喜多方市役所の男性職員の育児参加のための休暇取得割合        | 0%             | 15.4%          | 12.5%          | 10%以上          | 10%以上          |

### 【成果指標からみた実績】

学校教育の分野では、初期値との比較において、現時点で未公表の部分を除くと、小学校は、すべての指標で初期値を上回っています。一方、中学校は、②全国学力・学習状況調査の国語と算数・数学の結果の国語Aが初期値を上回ったものの、その他の指標は、維持または若干下回る結果となっています。

生涯学習の分野では、初期値との比較において、⑩生涯スポーツ活動者数と⑪スポーツ施設利用者数が若干低い実績となっているものの、その他の指標については、おおむね良好な数値を示しています。

歴史・文化の分野では、初期値との比較において、⑫文化財活用事業の参加者数は若干低い実績となっており、⑬喜多方市美術館入館者数はおおむね良好な数値を示しています。

男女共同参画の分野では、初期値との比較において、⑯男性の育児参加のための休暇取得率が上昇し、既に 38 年度の最終目標値を上回っています。一方で、⑭審議会等における女性委員の割合は若干低下し、⑮男性の育児休業取得率は、現時点で進捗が見られていません。

## 2 市民満足度・重要度調査結果

| 項 目                                 | 29 年度 満足度  | 29 年度 重要度  |
|-------------------------------------|------------|------------|
|                                     | 評価点数/100 点 | 評価点数/100 点 |
| (1) 学校教育の充実について<br>(1 の①～⑥)         | 54.6       | 89.2       |
| (2) 生涯学習に参加する機会について<br>(1 の⑦～⑨)     | 57.7       | 73.7       |
| (3) スポーツ活動に参加する機会について<br>(1 の⑩⑪)    | 58.9       | 74.6       |
| (4) 文化芸術に接する機会について<br>(1 の⑬)        | 57.0       | 71.6       |
| (5) 文化財や蔵などの保護・保存や利活用について<br>(1 の⑫) | 59.1       | 76.2       |
| (6) 男女共同参画の推進について<br>(1 の⑭～⑯)       | 53.9       | 70.1       |
| 平 均                                 | 56.9       | 75.9       |

### 【市民満足度・重要度調査結果】

#### (1) 学校教育の充実について

満足度の順位は 12 位となり、重要度の順位は 3 位となった。

重要とする理由として、

「学校教育こそ人間を育てるのに大切なこと。」「学校教育の充実には、十分な予算が必要で、未来を担う子ども達のために時間とお金をかけてほしい。」といった意見があった。

また、「学校教育については、もっと英語やパソコン等の内容を増やしても良いと思うし、タブレットを使用したりするのも良いと思う。但しアナログな部分も必要と思うので、文化財等の歴史を学び経験させる事も合わせて行ってみては。」との提言もあった。

不満の理由として、

「中学生の学力向上が遅れている。」「教員の資質が低下しているように感じる。」といった意見があった。

#### (2) 生涯学習に参加する機会について

満足度の順位は 6 位となり、重要度の順位は 23 位となった。

満足の理由として、

「生涯学習の機会が増えることはとても良いことだと思います。」「図書館は、民営化してから、より接客が良くなりました。」といった意見があった一方、「生涯学習は与えられたカリキュラムへの参加だけでなく自主自立による研鑽も必要。行政主体で多額の公金を投入すべき分野ではないと考える。」との意見もあった。

#### (3) スポーツ活動に参加する機会について

満足度の順位は 5 位となり、重要度の順位は 22 位となった。

満足の理由として、

「スポーツイベントは、にぎやかに年中行われていて良いと思うが、いかに地元以外の人にたくさん来てもらえるようになるか考えていけば、さらにベストだと思う。」といった意見があった一方、「スポーツ施設ですが、個人でも使えるような施設があると良い。スポーツ団体に加入しなくても、体育館が使えると気兼ねなくスポーツができる場合もあると思います。」「通年利

用可能な室内プールをつくってもらいたい。」との意見もあった。

#### (4) 文化芸術に接する機会について

満足度の順位は8位となり、重要度の順位は25位となった。

満足の理由として、

「「音コン」や「アートぶらりー」等身近に芸術に触れられて良い。」との意見があった一方、「喜多方プラザでの企画の充実、施設拡大（駐車場含めて）は希望したいところです。」「スポーツ、文化芸術すべて喜多方地区に集中している。」との意見もあった。

#### (5) 文化財や蔵などの保護・保存や利活用について

満足度の順位は4位となり、重要度の順位は20位となった。

満足の理由として、

「文化財の保護、保存、伝統芸能の継承は重要なので、今後もしっかり取り組む必要があると思います。」といった意見があった。

#### (6) 男女共同参画の推進について

満足度の順位は14位となり、重要度の順位は26位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が42.4%と高かった。

不満の理由として、

「男女共同参画の推進といっても一部のごく限られた人達で運営されている気がします。」「できる人、やりたい人がすればいい。あえて、男女共同参画の啓発をする必要はないと思う。」「男女共同参画については、建て前的な改革より市役所内から実際的に変えないと効果がない。」といった意見があった。

### 3 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・ 町民運動会や公民館活動など地域活動の縮小が懸念されるので、地域住民が主体的に活動できる環境を整えるという観点から、補助金など多方面にわたる支援を検討してください。
- ・ 男性の育児休業取得率で、市役所の男性職員の育児休業取得割合が0%と、現時点で進捗が見られていないことから、現状の分析をしっかりと行い、取得しやすい環境を整えるなど、実績が上がるよう努力してください。

### 大綱3 安全・安心、思いやりのある、人にやさしいまち・くらしづくり

| 施策の分野       | 施策項目                          |                                  |
|-------------|-------------------------------|----------------------------------|
| 子ども・子育て     | (1) 保育等の充実                    | (4) 安全・安心な妊娠・出産と健やかな子どもの発育・発達の支援 |
|             | (2) 地域における子育て力の向上             |                                  |
|             | (3) 子育て世代への経済的支援              | (5) 出会いの創出                       |
| 保健・医療・介護・福祉 | (1) 生活習慣病予防対策の推進              | (6) 保健・福祉施設の整備                   |
|             | (2) 健康づくりに関する普及・啓発の推進         | (7) 障がい者への支援                     |
|             | (3) 地域医療体制の充実                 | (8) 生活困窮世帯への支援                   |
|             | (4) 国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度の適正な運営 | (9) ひとり親家庭に対する支援                 |
|             | (5) 喜多方市地域包括ケアシステムの構築         | (10) 福祉関係団体等への支援                 |
| 消防・防災       | (1) 消防体制の充実                   | (3) 避難体制の確立                      |
|             | (2) 防災体制の強化                   | (4) 救急救助体制の充実強化                  |
| 生活・安全       | (1) 交通安全の推進                   | (4) 野生動物による人的被害防止                |
|             | (2) 防犯体制の充実                   | (5) 放射線関連の情報の提供                  |
|             | (3) 市民相談の充実                   |                                  |
| 社会基盤        | (1) くらしや産業を支える道路環境の整備         | (5) 良好で安全・安心な住環境の整備              |
|             | (2) 快適で住みよい生活環境の形成            | (6) 有効的な土地利用等の推進                 |
|             | (3) 安定した水道水の供給と汚水処理の普及拡大      | (7) 地域情報化の推進                     |
|             | (4) 公共交通の充実                   |                                  |

#### 1 成果指標

| 指標名                           | 指標の説明                                | 初期値<br>27年度 | 28年度<br>実績参考値 | 29年度<br>上半期実績                 | 33年度<br>中間目標値   | 38年度<br>最終目標値   |
|-------------------------------|--------------------------------------|-------------|---------------|-------------------------------|-----------------|-----------------|
| ①出生数[単年]                      | 本市における年間の出生数                         | 327人        | 356人          | 157人                          | 320人            | 320人            |
| ②妊婦一般健康診査(後期)所見ありの妊婦の割合[単年]   | 妊婦一般健康診査(後期)の受診結果で所見ありの妊婦の割合の減少      | 47.7%       | 56.8%         | 59.2%                         | 28.0%<br>(減少目標) | 18.0%<br>(減少目標) |
| ③むし歯のない3歳児の割合[単年]             | 3歳児健康診査時にむし歯のない子どもの割合の増加             | 71.5%       | 71.6%         | 78.1%                         | 80.0%           | 82.0%           |
| ④特定健診受診率[単年]                  | 国保被保険者の健診対象者のうち、特定健診を受診した者の割合        | 38.1%       | 36.4%         | 未定(年間を通した国保加入者等を分母にするため、算出困難) | 47.0%           | 60.0%           |
| ⑤メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率[単年] | 平成20年度を基準としたメタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率 | 17.51%      | 17.03%        | 未定(年間を通した国保加入者等を分母にするため、算出困難) | 31.0%           | 41.0%           |
| ⑥太極拳ゆったり体操教室数[単年]             | 市内の太極拳ゆったり体操教室数                      | 53教室        | 58教室          | 44教室                          | 58教室            | 63教室            |
| ⑦認知症サポーター養成者数[累計]             | 市内の認知症サポーター養成者数                      | 1,981人      | 2,628人        | 3,264人                        | 3,981人          | 5,981人          |
| ⑧いきいき高齢者率[累計]                 | 要介護の認定を受けていない高齢者の割合                  | 80.5%       | 80.8%         | 80.3%                         | 83.0%           | 85.0%           |

|                                     |                                                        |                       |                        |                         |                        |                        |
|-------------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|------------------------|------------------------|
| ⑨就労継続支援利用者数[単年]                     | 障がい者で、生産活動を通して知識や能力の向上のためのサービスを利用している者の年間の数            | 150 人                 | 167 人                  | 180 人                   | 165 人                  | 177 人                  |
| ⑩火災発生件数[単年]                         | 広域消防本部による市内の年間火災発生件数（暦年）                               | 31 件<br>(H28)         | 31 件                   | 18 件                    | 25 件<br>(減少目標)         | 20 件<br>(減少目標)         |
| ⑪ V-Low マルチメディア放送戸別受信機の配布完了行政区数[累計] | 戸別受信機の配布行政区数                                           | 0 行政区<br>(H28)        | 0 行政区                  | 0 行政区                   | 186 行政区                | 272 行政区                |
| ⑫自主防災組織数[累計]                        | 地域防災力確保のための自主防災組織数                                     | 60 組織                 | 63 組織                  | 68 組織                   | 85 組織                  | 110 組織                 |
| ⑬交通事故による死傷者数[単年]                    | 福島県警察本部交通事故発生状況による市内の年間の交通事故による死傷者数（暦年）                | 115 件                 | 84 件                   | 75 件                    | 97 件<br>(減少目標)         | 82 件<br>(減少目標)         |
| ⑭刑法犯発生件数[単年]                        | 喜多方警察署による市内の年間刑法犯発生件数（暦年）                              | 258 件                 | 204 件                  | 148 件                   | 224 件<br>(減少目標)        | 200 件<br>(減少目標)        |
| ⑮道路橋の修繕による対策数[累計]                   | 健全性の診断結果が早期措置段階の橋梁を対象とした修繕による対策数                       | 1 件<br>(H28)          | 1 件                    | 1 件                     | 6 件                    | 11 件                   |
| ⑯ 1 級市道の舗装補修の対策率[累計]                | 路面性状調査による MCI が 3 以下の 1 級市道を対象とした舗装補修の対策率              | 12.5%<br>(H28)        | 12.5%                  | 20.4%                   | 50.0%                  | 100.0%                 |
| ⑰本庁、各総合支所相互間を結ぶ所要時間の短縮[累計]          | 本庁と各総合支所及び各総合支所間を結ぶ所要時間の合計                             | 263 分<br>(H28)        | 263 分                  | 263 分                   | 253 分<br>(減少目標)        | 243 分<br>(減少目標)        |
| ⑱水道普及率[累計]                          | 行政区域内人口に対する給水人口                                        | 87.6%                 | 87.7%                  | 未定(年度途中での給水人口の把握が困難なため) | 87.9%                  | 90.0%                  |
| ⑲下水道等普及率[累計]                        | 総人口に占める公共下水道、農業集落排水、浄化槽の利用可能人数の割合                      | 61.5%                 | 60.9%                  | 未定(年度途中の利用可人数の把握が困難なため) | 68.7%                  | 76.8%                  |
| ⑳水洗化率[累計]                           | 下水道が整備された区域の人口のうち接続（水洗化）した人口の割合                        | 86.7%                 | 87.8%                  | 未定(年度途中の水洗化人口の把握が困難なため) | 87.8%                  | 89.0%                  |
| ㉑一人あたりの都市公園面積[累計]                   | 都市計画区域内人口一人あたりの都市公園面積                                  | 7.3 m <sup>2</sup> /人 | 7.42 m <sup>2</sup> /人 | 7.48 m <sup>2</sup> /人  | 8.45 m <sup>2</sup> /人 | 8.89 m <sup>2</sup> /人 |
| ㉒公共交通利用者数[単年]                       | 1 日の公共交通利用者数                                           | 282 人                 | 271 人                  | 91 人                    | 360 人                  | 492 人                  |
| ㉓木造住宅耐震診断の実施件数[累計]                  | S56 年以前に建設された木造住宅で耐震診断を行った件数。※（一社）福島県建築士事務所協会の審査を受けたもの | 37 件                  | 41 件                   | 42 件                    | 67 件                   | 92 件                   |
| ㉔耐震改修を行った木造住宅の件数[累計]                | 木造住宅耐震診断を行った後、耐震改修を行った件数                               | 1 件                   | 1 件                    | 1 件                     | 6 件                    | 12 件                   |
| ㉕空き家等解体撤去件数[累計]                     | 助言・指導等を行った空き家等、及び相談を受けた空き家等のうち解体及び撤去を実施した件数            | 3 件                   | 20 件                   | 28 件                    | 33 件                   | 58 件                   |
| ㉖携帯電話不通話地区の解消[累計]                   | 市内の携帯電話不通話地区数                                          | 4 地区<br>(H28)         | 4 地区                   | 3 地区                    | 2 地区<br>(減少目標)         | 0 地区<br>(減少目標)         |

## 【成果指標からみた実績】

子ども・子育ての分野では、初期値との比較において、②妊婦一般健康診査(後期)所見ありの妊婦の割合(減少目標)が高い実績となっているものの、その他の指標については、おおむね良好な数値を示しています。

保健・医療・介護・福祉の分野では、初期値との比較において、現時点で未定の部分を除くと、おおむね良好な数値を示しています。⑨就労継続支援利用者数については、既に38年度の最終目標値を上回っています。

消防・防災の分野では、初期値との比較において、おおむね良好な数値を示しています。⑪V-Low マルチメディア放送戸別受信機の配布完了行政区数については、実績としてはゼロですが、現在、配布に向けてシステムを構築中です。

生活・安全の分野では、初期値との比較において、おおむね良好な数値を示しています。

社会基盤の分野では、初期値との比較において、現時点で未定の部分を除くと、維持の状況が多く見られますが、⑩1級市道の舗装補修の対策率や⑬木造住宅耐震診断の実施件数、⑮空き家等解体撤去件数などは増加しています。⑫公共交通利用者数については、現時点で路線バスの利用者数が未計上の数値となっています。

## 2 市民満足度・重要度調査結果

| 項 目                                    | 29年度 満足度  | 29年度 重要度  |
|----------------------------------------|-----------|-----------|
|                                        | 評価点数/100点 | 評価点数/100点 |
| (1) 子育てしやすい環境の整備について<br>(1の①～③)        | 51.3      | 91.1      |
| (2) 健康づくりや病気の予防対策の推進について<br>(1の⑥⑧)     | 62.5      | 86.4      |
| (3) 病院などの地域医療体制の充実について<br>(1の④⑤)       | 45.8      | 90.0      |
| (4) 障がい者や高齢者などのための福祉サービスについて<br>(1の⑦⑨) | 53.3      | 87.9      |
| (5) 自然災害や火災などの防災対策について<br>(1の⑩～⑫)      | 54.4      | 88.9      |
| (6) 防犯対策などの安全・安心なまちづくりについて<br>(1の⑬⑭)   | 57.2      | 87.5      |
| (7) 道路環境等の整備について<br>(1の⑮～⑰)            | 46.3      | 85.4      |
| (8) 公園の整備について<br>(1の⑱)                 | 47.0      | 73.7      |
| (9) 生活排水などの污水处理対策について<br>(1の⑲⑳)        | 54.6      | 84.9      |
| (10) 公共交通機関の利用環境について<br>(1の㉑)          | 39.4      | 77.8      |
| (11) 住宅や住環境の整備について<br>(1の㉒～㉔)          | 41.2      | 77.5      |
| 平 均                                    | 50.3      | 84.6      |

### 【市民満足度・重要度調査結果】

#### (1) 子育てしやすい環境の整備について

満足度の順位は17位となり、重要度の順位は1位となった。

重要とする理由として、

「今後人口増(少子化の対策として)子育て支援の強化を強くお願いしたい。」「現状の子育て

支援についてはある程度評価している。しかし少子化に歯止めを掛けるなら、もう少し手厚い支援が有っても良い。」「働きながら子育てしているお母さんに優しくない。」といった意見があった。

## **(2) 健康づくりや病気の予防対策の推進について**

満足度の順位は2位となり、重要度の順位は8位となった。

満足の理由として、

「子宮がん検診のクーポンが来て、受けてみようという気持ちになりました。よかったです。」といった意見があった一方、「健診について、以前から比べると健診項目が減ったり対象者限定となったりしていますが、ある程度の負担をしても受診したいと思う人はいると思います。」との意見もあった。

## **(3) 病院などの地域医療体制の充実について**

満足度の順位は22位となり、重要度の順位は2位となった。

不満の理由として、

「町医者が減り、急な受診も若松まで行かなければならない。」「地域医療体制については、喜多方市に小児科救急があったほうが良いと思います。」といった意見があった。

## **(4) 障がい者や高齢者などのための福祉サービスについて**

満足度の順位は16位となり、重要度の順位は5位となった。

満足の理由として、

「高齢者への行き届いた福祉サービスには、とても好感を持ちました。」といった意見があった。  
重要とする理由として、  
「介護のサービスをもっと質的・量的に向上させていくべき。」といった意見があった。

## **(5) 自然災害や火災などの防災対策について**

満足度の順位は13位となり、重要度の順位は4位となった。

重要とする理由として、

「消防団の人手不足。若手の加入が難しくなりつつあり、もっとバックアップしてほしい。」「想定される自然災害への対応をもっと充実させて下さい。緊急避難する場所も知らない人が大勢いる状況です。」といった意見があった。

## **(6) 防犯対策などの安全・安心なまちづくりについて**

満足度の順位は7位となり、重要度の順位は6位となった。

重要とする理由として、

「安全・安心は住民にとって大変関心がある事だと思いますので、取り組みは良い事だと思います。」といった意見があった。

## **(7) 道路環境等の整備について**

満足度の順位は21位となり、重要度の順位は9位となった。

不満の理由として、

「道路環境について、植栽(歩道のところ)や路肩部分に草が生え放題になっていたり、側溝の清掃が行き届いていない。」「冬道の除雪が不十分。」「老朽化して、デコボコやひび割れ等の道路がある。」といった意見があった。

### (8) 公園の整備について

満足度の順位は 19 位となり、重要度の順位は 24 位となった。

不満の理由として、

「公園の遊具が壊れたままになっている。」「河川敷公園など、草が伸びていて遊べない。」といった意見があった。

### (9) 生活排水などの汚水処理対策について

満足度の順位は 11 位となり、重要度の順位は 10 位となった。

重要とする理由として、

「住んでいる地区に限らず河川の汚染はとても心配です。」「下水道がないため生活排水が垂れ流しになっているところがある。特に夏場の悪臭がひどい（水が流れない時がよくある）。」「公共下水道の整備は加速すべきと思う。」といった意見があった。

### (10) 公共交通機関の利用環境について

満足度の順位は 24 位となり、重要度の順位は 17 位となった。

不満の理由として、

「高齢社会により車より電車の利用が増えると思うが、郡山－喜多方までの直通電車がない。若松乗りかえで 30 分も待つ時がある。観光面にも影響があると思う。」「予約乗合交通は休日運行しておらず使いづらいです。」「デマンドバスの運行について、もう少し利用しやすくならないかと思います。予約しないと乗せてもらえないのが難しい。」「これから高齢時代に入り、免許証の返納者も増えるので市内を 10 人乗り位のバスでよいので、循環してほしい。」といった意見があった。

### (11) 住宅や住環境の整備について

満足度の順位は 23 位となり、重要度の順位は 18 位となった。

不満の理由として、

「空き家に関しては本当に困っています。ノラネコや野外生物が入り込んで。」「空き家対策も防犯の面や景観等の面から考えていただきたい。」といった意見があった。

また、「空き家撤去の助成について知らない人が多い。」「空き家対策や耐震化は重要ですが、取り組みが有るのは聞いていませんでした。」など、市の取り組みを知らないケースが見られた。

## 3 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・ 子育てしやすい環境の整備が、重要度の 1 位でありながら満足度で 17 位となっていることを踏まえ、子育ての悩み相談や仲間づくり、子どもの遊び場となる子育てサポートセンターの増設の検討、あるいは、現行の同様の機能を持つ施設の充実、PR に努めてください。
- ・ 公共交通機関の利用環境についての満足度が極めて低いため、市民の意向、特に免許証返納問題とも関連してくる高齢者の意向を十分に汲み取りながら、利用しやすい公共交通の環境づくりに向けて改善を図ってください。

## 大綱4 自然との共生と元氣なふるさとづくり

| 施策の分野            | 施策項目              |                         |
|------------------|-------------------|-------------------------|
| 協働・地域コミュニティ・市民活動 | (1) 協働の意識の醸成      | (3) 市民活動の推進             |
|                  | (2) 地域コミュニティの支援   | (4) 非核平和のまち宣言の普及啓発      |
| 移住・定住            | (1) 移住の促進         | (2) 定住の促進               |
| 連携・交流            | (1) 地域間等の連携と交流の推進 | (2) 国際交流の推進             |
| 生活環境・自然環境・景観     | (1) 清流対策の推進       | (3) 良好な景観の保全と形成         |
|                  | (2) 環境の保全         | (4) 害を及ぼす小動物や害虫の駆除・防除   |
| 循環型社会            | (1) 廃棄物減量化の促進     | (3) 省エネルギー・再生可能エネルギーの推進 |
|                  | (2) 環境負荷の低減       |                         |

### 1 成果指標

| 指標名                             | 指標の説明                                            |     | 初期値<br>27 年度   | 28 年度<br>実績参考値 | 29 年度<br>上半期実績     | 33 年度<br>中間目標値     | 38 年度<br>最終目標値     |
|---------------------------------|--------------------------------------------------|-----|----------------|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| ①NPO 法人やボランティア団体との協働事業数<br>[単年] | NPO 法人やボランティア団体と協働で取り組んだ年間の事業数                   |     | 19 件           | 20 件           | 15 件               | 25 件               | 30 件               |
| ②NPO 法人組織数<br>[累計]              | 本市の NPO 法人の組織数                                   |     | 23 団体          | 23 団体          | 24 団体              | 28 団体              | 33 団体              |
| ③ふるさと創生事業の採択件数<br>[単年]          | 地域づくりに関する補助金の年間採択件数                              |     | 27 件           | 36 件           | 33 件               | 35 件               | 40 件               |
| ④公園サポート団体との協定数<br>[累計]          | 行政区や地域団体と喜多方市公園等管理サポート協定を締結した件数                  |     | 33 件           | 33 件           | 33 件               | 35 件               | 37 件               |
| ⑤道路サポート協定の協定数<br>[累計]           | 行政区や地域団体とうつくしまの道・サポート協定を締結した件数                   |     | 14 件           | 17 件           | 18 件               | 17 件               | 20 件               |
| ⑥本市への移住件数[累計]                   | 相談窓口や移住促進のための制度を活用した移住の件数（若者定住補助金利用での転入を含む）      |     | 12 世帯<br>(H28) | 12 世帯          | 26 世帯              | 62 世帯              | 112 世帯             |
| ⑦市人口の転出超過数[単年]                  | 現住人口における年間の転出超過数（暦年）                             |     | 175 人          | 162 人          | 158 人<br>(H29.1～6) | 59 人<br>〈減少目標〉     | 17 人<br>〈減少目標〉     |
| ⑧連携協定等締結数[累計]                   | 友好都市・宣言、産学官連携、協定等の締結数                            |     | 37 件           | 41 件           | 45 件               | 44 件               | 50 件               |
| ⑨国際交流活動参加者数[単年]                 | 姉妹都市との交流事業や外国語講座等への年間参加者数                        |     | 205 人          | 246 人          | 33 人               | 250 人              | 300 人              |
| ⑩地区清掃実施行政区数[単年]                 | 地区清掃活動による環境美化に取り組む年間の行政区数                        |     | 250 行政区        | 249 行政区        | 250 行政区            | 263 行政区            | 272 行政区            |
| ⑪河川の生物化学的酸素要求量（BOD）[単年]         | 市内の 2 河川の有機汚濁の程度                                 | 田付川 | 1.6 mg/ℓ       | 現時点で<br>未公表    | 現時点で<br>未公表        | 1.2 mg/ℓ<br>〈減少目標〉 | 1.0 mg/ℓ<br>〈減少目標〉 |
|                                 |                                                  | 濁川  | 1.7 mg/ℓ       | 現時点で<br>未公表    | 現時点で<br>未公表        | 1.3 mg/ℓ<br>〈減少目標〉 | 1.0 mg/ℓ<br>〈減少目標〉 |
| ⑫まちなみ景観形成事業費補助金の申請件数<br>[単年]    | 景観形成住民団体として認定した団体またはこの団体に属する者が行う景観形成事業の年間補助金申請件数 |     | 2 件            | 2 件            | 0 件                | 3 件                | 6 件                |

|                              |                                              |           |           |           |                 |                 |
|------------------------------|----------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------------|-----------------|
| ⑬一人一日あたり<br>のごみ排出量<br>[単年]   | 年間の総排出量から一人一日<br>あたりの排出量を算出したも<br>の          | 966 g     | 943 g     | 1,050 g   | 932 g<br>〈減少目標〉 | 908 g<br>〈減少目標〉 |
| ⑭リサイクル率<br>[単年]              | 市内で排出される一般廃棄物<br>のうち、資源物が占める割合               | 15.0%     | 14.6%     | 16.7%     | 18.0%           | 21.0%           |
| ⑮住宅用太陽光発<br>電システム導入<br>量[累計] | 市内における住宅用太陽光発<br>電システム導入量（資源エネ<br>ルギー庁公表データ） | 2,500 k w | 2,975 k w | 3,050 k w | 4,400 k w       | 6,000 k w       |

### 【成果指標からみた実績】

協働・地域コミュニティ・市民活動の分野では、初期値との比較において、④公園サポート団体との協定数は変わらないものの、その他の指標については、おおむね良好な数値を示しており、⑤道路サポート協定の協定数は、33年度の間目標値を既に上回っています。

移住・定住の分野では、初期値との比較において、おおむね良好な数値を示しています。⑥本市への移住件数の14世帯増えた分のうち、9世帯が若者定住補助金利用による移住です。

連携・交流の分野では、⑧連携協定等締結数は、既に33年度の間目標値を上回っていますが、⑨国際交流活動参加者数は現時点で低い実績となっています。

生活環境・自然環境・景観の分野では、初期値との比較において、現時点で未公表の部分を除き、あまり進捗が見られていない状況です。

循環型社会の分野では、初期値との比較において、⑬一人一日あたりのごみ排出量（減少目標）が若干高い実績となっているものの、その他の指標については、おおむね良好な数値を示しています。

## 2 市民満足度・重要度調査結果

| 項 目                                  | 29年度 満足度  | 29年度 重要度  |
|--------------------------------------|-----------|-----------|
|                                      | 評価点数/100点 | 評価点数/100点 |
| (1) 住民と行政との協働によるまちづくりについて<br>(1の①～⑤) | 53.5      | 77.2      |
| (2) 移住・定住の促進について<br>(1の⑥⑦)           | 47.4      | 74.7      |
| (3) 国際交流・地域間交流（連携）の推進について<br>(1の⑧⑨)  | 56.0      | 61.2      |
| (4) 環境の保全や市の景観について<br>(1の⑩～⑫)        | 56.4      | 78.8      |
| (5) 地球環境にやさしいまちづくりについて<br>(1の⑬～⑮)    | 64.0      | 83.5      |
| 平 均                                  | 55.5      | 75.1      |

### 【市民満足度・重要度調査結果】

#### (1) 住民と行政との協働によるまちづくりについて

満足度の順位は15位となり、重要度の順位は19位となった。

満足の理由として、

「喜多方は協働・地域コミュニティ・市民活動がとても充実していると思います。」といった意見があった一方、「地域コミュニティが年寄りばかりで今後不安。現状のままでは、一部の人たちに負担がかかる。」「地域、地区民と一体となったまちづくりについて、全体的に市民の意識が低いように思う。道路の清掃、除草など、いっしょになって取り組むための市民への呼びかけ、意識の高揚を図る取り組みを進めたらどうか。」との意見もあった。

## (2) 移住・定住の促進について

満足度の順位は 18 位となり、重要度の順位は 21 位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が 39.0%と高かった。

満足の理由として、

「移住・定住の促進活動については、首都圏でも様々な取り組みがなされているのも目にしたことがあり、うまくなされていると感じる。」といった意見があった一方、「移住に対しては受け皿を整えて、もっとアピールをしても良いのではないかな。多くある空き家の利用ができればいいなと思っています。(空き家プラス家庭菜園用の土地を整備し提供など)」「移住・定住を促すための喜多方の最大のメリットは何か。魅力あふれる市にしてほしい。働く場所が無いと入ってはきません。新規企業の誘致に努力して下さい。」との提言もあった。

## (3) 国際交流・地域間交流（連携）の推進について

満足度の順位は 10 位となり、重要度の順位は 27 位となった。

満足度でわからないを選んだ割合が 48.4%と高かった。

「ウィルソンビルはどこにあるのか。研修生はどうやって選んでいるのか、わからない。」「文化交流についてはあまり知りませんでした。」「姉妹都市や友好都市はこのアンケートで初めて知りました。何をしているか全くわからないので、もう少しイベントなど増やすべきだと思います。」といった意見があった。

## (4) 環境の保全や市の景観について

満足度の順位は 9 位となり、重要度の順位は 16 位となった。

満足の理由として、

「喜多方はとてもキレイな町だと思います。自然環境を大切にされていてよいと思います。」「市の環境・景観については良く整備されていると思う。」「美しい自然と町なみを生かした町づくりに期待しています。」といった意見があった。

また、「一斉清掃については、町内独自の方法でやれるようにしたらどうか。(高齢化が進み高齢者の参加が難しい地区等)」との提言もあった。

## (5) 地球環境にやさしいまちづくりについて

満足度の順位は 1 位となり、重要度の順位は 12 位となった。

満足の理由として、

「地球環境に対するごみ分別収集は喜多方は最高だと思います。」「ごみの分別やリサイクル、資源物回収には、市民の方も協力的になったと思います。」といった意見があった一方、「ごみ収集が祝日と重なると変更になるのが少々不満です。」「缶とペットボトルはたまりやすく、収集が月 1 回だけだと少ないので、せめて月 2 回ぐらいにしてほしいです。」との意見もあった。

### 3 審議会委員の意見（評価、提案、要望等）

- ・ 移住・定住促進の施策である若者の住宅取得に対する助成は、人口減少対策として有効であると思われるため、今後も財源の確保や制度内容を精査しながら引き続き実施してください。
- ・ 一斉清掃に参加できていない行政区など、住民による地域活動に課題がある場合は、市としての支援を検討してください。